



希望の星だより

令和7年8月号
 発行 希望の星保育園
 園長 兼城 佐代子
 編集 仲村
 儀間 山城

本格的な夏到来です。セミの合唱にも負けなくらい元気に汗だくになって駆け回る子ども達。園庭や公園で思いっきり遊んだ後の冷たいシャワーは格別！！

「気持ちいい！」「冷たい！」と歓声をあげています。そんな中、空の雲の様子を観察しスコールに驚いたり、みんなで育てている朝顔、向日葵の生長等を観察したりと自然にも目を向け、気づきなど一緒に共感していきたいです。今年も厳しい暑さが予想されます。疲れが溜まりやすいこの時期。十分な栄養補給と睡眠時間を欠かさないようにしましょうね。引き続き感染予防や安全を最優先に子ども達の健康管理に努めて参ります。暑い夏をみんなで元気に乗り切っていきましょう！

さて、最年長のぞう組さんは今月体験学習を控えています。

「楽しみ～」「どこ行こうか」とワクワク！！興味関心を引き出し意欲を高めていけるよう、計画していきたいと考えているところです。そして子ども達がどんな発見をし成長を見せてくれるか職員一同楽しみにしています。

8月の行事予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1 スイミング	2
3	4	5 リズム	6 園児健診	5	6 スイミング	9
10	11 山の日	12 避難訓練 (震災)	13	14	15	16 体験学習 (ぞう組)
17	18 身体測定	19 リズム	20	21 お誕生会 (お弁当)	22 スイミング	23
24/31	25	26	27	28	29 スイミング	30

こんなに大きくなったよ

ひまわりと
あさがお



りっぱなつぼみ！
もうすぐ咲くよ



あさがおは
一足お先に
咲きました！



クラスだより



(0才児) <目標>

☆十分な休息をとりながら、一人ひとり快適なリズムで過ごす。
☆水や砂などに触れ、夏ならではの遊びを保育者と一緒に楽しむ。

先月は、産まれて初めての行事、盆踊りに参加して舞台上で親子で楽しんでいる姿が見て、私達も楽しく過ごすことができ嬉しかったです。また、これからの行事も一緒に楽しんでいきましょうね♪

今、子ども達は、少しずつ歩けるようになったりその場に立ったり、伝え歩きがスムーズになったりと、日々成長する子ども達の姿にびっくりです！

また、子ども達一人ひとりの表情も豊かになって、色々表情も見せてくれるようになって、その表情に、毎日癒されている先生達ですよ♡

夏は開放的な遊びがいっぱい！今月は、ベランダで水遊びや園庭遊びの砂遊びを思いきり楽しみたいと思います！たくさん遊んだ後は、十分な休息をとっていきます。夏バテしないように、しっかり食べて、寝て、体調管理も気をつけて、この夏を乗り切りましょうね。



(2才児) <目標>

☆夏季の暑さに留意し、快適に過ごせるようにする。

暑い夏が続いていますが、子ども達は元気いっぱい！園庭では空っぽになったセミの抜け殻を見つけて大喜び。大事そうに集める子や、ちょっぴり怖くて恐る恐る触ろうとする子…。自然への興味関心も高まっています！そして園庭で遊んだ後はシャワーで気持ちのいいひと時。

熱中症はもちろん心配ですが、夏の遊びを満喫しつつ、心地よく過ごせるようにしたいですね。夏の暑さで疲れが出やすい時期でもあります。普段よりもしっかり休息を取れるよう、配慮していきますね。

排泄や着脱も驚くほどスムーズに出来るようになりました。ご家庭でも一緒に取り組んでみて下さいね。晴れた日には外遊びや散歩もたくさん取り入れていきますね！



(4才児) <目標>

☆夏の植物や生き物に興味関心を持つ

らいおん組では以前保護者の皆様と蒔いた向日葵の種が大きくなって来ています。でもカタツムリに食べられてしまったり台風の影響で折れたり…ハプニングもありますが残った向日葵を「大切に育てたい」という気持ちを皆で持ちながら毎日観察を楽しんでいます。また、スイカ好きのクラスという事もあり「給食で食べたスイカの種を集めて蒔いてみよう」というワクワクの活動もしてみました。なんとびよこびよこ芽が出ているではありませんか！芽が出るのを待つのはとってもドキドキ。どうか実になりますよお～に！また楽しみの余り水撒きをするのは誰が先か！と些細な事から意見がぶつかり合う事もしばしば。そんな時園長先生から「カラーモンスター」という面白い絵本を勧められ読み聞かせすると子どもの心にロックオン！この絵本を通じて自分の気持ちやお友だちの気持ちも少しずつ理解出来るようになってきたように感じます。是非、保護者の皆様も手にして読んでみて下さいね。これからも自然やお友だちの触れ合いを大切にしながら日々充実して過ごせて行きたいと思っている今日この頃です。



(1才児) <目標>

☆夏ならではの遊びを十分に楽しむ。
☆自分の服に今日にもって着脱しようとする。

暑さが厳しい時期となりましたが、今月は夏ならではの遊びが満喫できるよう水・砂・ボディペインティングなど見て、触れて体験する楽しさを味わっていただけるよう計画中です。外遊びや活動の後は水分補給、休憩時間もしっかりと疲れが残らないよう配慮していきたいと思えます。

さて、生活面では自分の服を意識するようになりました。着替えの際はズボンに足を通してみようかとチャレンジ！ズボンの片側に両足を通したり上着が上下逆さになり足を通し「あれっ？」という表情。でもそんな一生懸命な姿が微笑ましいです。自分でやってみたい！という気持ちを大事にしながらもさりげなく援助し、出来た！を共感していきたいと思えます。



(3才児) <目標>

☆暑さに負けず、夏ならではの遊びを楽しみながら元気に過ごす。
☆生活の中で必要な言葉に触れ、言ってみようとする。

朝のお支度が上手になってきたばんだ組さん。登園すると声掛けでタオル、連絡帳を所定のかごに入れる事が定着しつつあります。食後の着替えも随分上手になってきて見守りだけでOKな事も多くなりました。また、食事では「お箸、使いたい！」という子も増えてきましたよ。、出来る事、挑戦したい事が随分遅くなってきました！

4、5歳児のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちと過ごす事も多く良い刺激となっているようです。これからもどんな成長を見せてくれるかとても楽しみです。

さて、クラスで廃品遊びをしています。発泡スチロールのトレイ、牛乳、卵パック、空き箱等ありましたら持たせて下さいね。よろしく願いいたします。



(5才児) <目標>

☆体験学習を通して、友達と協力して活動する喜びを味わう。

6月に行われた保育参観で、親子で種まきをした朝顔の綺麗な花が咲きました。子ども達と一緒にペットボトルジョーロで水かけも楽しんでいましたよ。花びらを使って、色水遊びも楽しんでいきたいと思えます。

さて今月は、そう組にとっての大イベント「体験学習」を予定しています。行き先は～！お絵描きやぬり絵が大好きなそう組にぴったりのチームラボ 未来の遊園地に決定いたしました！色彩豊かなアートに触れ、遊び・表現する楽しさを発見する事で、子ども達の想像力の可能性を、育てていきたいと思えます。体験学習についての詳細は 後日お知らせしますね！

チームラボ



8月



ほけんだより

保健だより 第2号
希望の星保育園
令和7年8月1日
園長 兼城佐代子
看護師 安村幸美

蒸し暑い日が続き、体調のコントロールが難しい時期となっています。
食事、睡眠をしっかりとり、遊びに行った際も水分、休息をとりながら
元気に楽しく夏を乗り切りましょう。

熱中症はどうして起こる？

体には熱を逃がす働きがある

運動すると体がポカポカして汗が出てきます。皮膚の表面から熱を逃がしたり、汗を蒸発させて体温を下げたりして、体内の温度が上がりにくいようになっています。



熱中症の危険があるとき

気温が高い
皮膚から熱が放出されにくくなる
湿度が高い
汗が蒸発しにくくなる
水分不足
体内の循環が悪くなって熱を放出しにくくなる。
急に暑くなった
体が暑さに慣れていないため熱の放出がうまくいかない

① 気温や注意報をよく見る

気温や湿度が高いときや、暑さ指数が「警戒」「嚴重警戒」「危険」の時は、屋外での活動を控えましょう。

小さな子どもは「のどがかわいた」といえません。出かける前、遊ぶ前に水分を取らせ、その後もこまめに少しずつ飲ませましょう。

② 暑さに体を慣らそう

暑いからといって外に出ないと、体が暑さに慣れずかえって熱中症のリスクが上がります。適度に外で遊んで、暑さに慣らしておきましょう。

外で活動している時、体調が悪くなった時はもちろん、元気で顔が真っ赤で汗をたくさんかいているのは、体内の温度が上がっているサイン。すぐに涼しい場所で休ませ水分をとらせませます。



熱中症を疑ったら

涼しいところへ移動し、衣服をゆるめて風通しをよくし、頭を低くした状態で寝かせます。塩分水分を含んだイオン飲料をこまめに少しずつ与えましょう。

夏の肌トラブル

蚊にさされた時

大人が蚊に刺されるとすぐにはれ、じきに治まります。ところが、小さな子どもは、刺されてしばらくたってから、びっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることもあります。かき壊さないよう早めに手当てしましょう。

ケアは

① 刺されたところを水で洗い流します。



② かゆみ止めを塗ったり、ぬらしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てたりして、かゆみをやわらげます。



とびひができた時

皮膚をかきむしって傷ができたところに細菌が感染して、ジクジクした湿疹（とびひ）ができます。とびひは感染力が強いので、ひどくかゆいため、かいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿疹が広がります。

ケアは

シャワーを浴び、皮膚の清潔を保ちます。かき壊して広がる、周りに感染するのを防ぐためにガーゼなどで保護することがあります。

治療は

抗菌薬の塗り薬を使います。よくならない時は抗菌薬の内服をします。

予防接種を受けましょう

予防接種は、自分が病気にかかるのを防ぐだけでなく人に感染させてしまうことで園や社会全体にその病気がまん延するのを防ぎます。

また、病気にかかったとしても重症化を防げる場合もあります。



肌トラブルを防ぐために

- 皮膚を傷つけないようにつめを短く切る
- かゆみをやわらげるように冷やす、かゆみを止めを塗る
- 治りが遅い、広がった、湿疹が変化したときは、小児科や皮膚科を受診